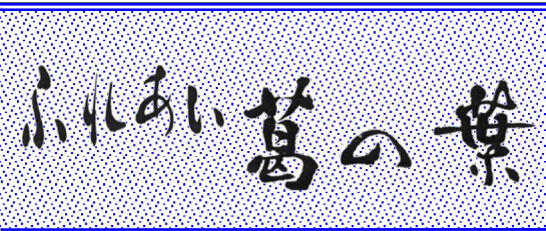


令和6年(2024年)8月 第84号

発行：葛飾地区社会福祉協議会

〒273-0031 船橋市西船4-17-3 船橋市西船橋出張所3階 ☎/📠047-437-6633



ボランティア募集

- ◆地域福祉活動支援
- ◆安心登録カード登録者見守り
- ◆地域在宅生活支援

車いす貸出 福祉相談受付



退任された前宍戸会長(中央)左は船橋市社協若生会長、右は石井役員選考委員長



役員を退任され、記念の花束を受ける勝田さん。



役員を退任され、記念の花束を受ける馬田さん。



葛飾地区社協通常総会で挨拶する市社協 若生会長(中央奥)

去る5月24日(金)葛飾公民館で令和6年度の通常総会が開催されました。開会前に司会を選任。開会宣言がなされ、会長および来賓挨拶のあと議長を選出し議事に入りました。令和5年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告と続き質疑応答がありました。これらが承認されました。つづいて令和6年度事業計画案、予算案が提案され質疑応答の後、これら二案は承認されました。

令和6年度 通常総会開催

於 葛飾公民館

役員選考委員長より役員変更の報告があり了承されました。退任された役員3名の方に感謝状等が授与されました。閉会の挨拶があり総会は無事に終了しました。



林会長談話

令和6年度、葛飾地区社会福祉協議会の総会席上で承認を頂き、また

船橋市社会福祉協議会より葛飾地区社会福祉協議会長の委嘱を受けました林信昭です。事務局長を十数年続けさせていただきました。年齢も進み、退任を考えていた矢先に会長への話があり、非常に迷いました。しかし、もう一期二年間を皆様のお役に立てさせていただく機会と捉え、引き受けました。皆様のお力添えを頂き、明るく住みやすい地域の構築に微力ではありますが尽力していきたいと思っております。のでよろしくお願い致します。

2024年度(令和6年)葛飾地区社会福祉協議会新役員(順不同)

会長	事務局長	理事	理事	評議員	評議員	評議員	評議員
林 信昭	堀川裕生	角田 稔	高橋道子	上田盛彦	久保貴子	中川康三	石井利周
副会長	会計	小田嶋幸三	藤井康男	桑原牧子	並木紀子	井上和子	田島直人
石井栄太郎	久保秀明	櫻井厚三	北島順子	櫻井悦子	羽淵徹也	高中達也	三橋 真
藤田 勲		村松大輔	太田典子	田地野優子	為我井昌子	石原由香里	
文川和雄	書記	渡辺初江	総会以後就任	賦勺裕子	三須栄一	茂木義久	
石山富美晴	岡村とみ江	小野寺まり子	河原千恵子	渡邊恒行	清水孝規	長谷川泰一	
宮澤紀子	久保よしえ	林 政子		平野美智代	成島秀子	坂元理志	

令和5年度収支決算書	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
令和6年度収支予算書	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
項目	R5年度決算	R6年度予算
収入の部		
前期繰越金	691,835	603,869
補助金	367,000	350,000
助成金	3,732,527	4,891,929
寄付金	71,000	60,000
事業参加費	103,800	120,000
利用料	27,090	30,000
事業手数料	0	0
雑収入(利息含む)	122,613	150,000
積立金取崩収入	77,971	50,000
事業区分間繰入金	262,577	80,000
合計	5,456,413	6,335,798
支出の部		
事務(運営)費	886,122	1,378,869
ミニディサービス事業	568,244	1,204,000
ふれあいいきいきサロン事業	95,970	120,000
ボランティア育成事業	37,928	60,000
広報事業	286,854	320,000
福祉まつり事業	241,536	330,000
子育てサロン事業	175,390	170,000
安心登録カード事業運営費	31,727	30,000
福祉相談事業	53,241	20,000
災害時要支援者支援事業(電話)	30,300	90,000
災害時要支援者支援事業(ハガキ)	144,372	237,929
生活支援CO事務費	156,297	165,000
活動拠点(分室)事業	1,857,652	1,980,000
住民参加型在宅福祉サービス事業	162,308	100,000
生活支援CO運営費	124,603	130,000
次期繰越金	603,869	0
合計	5,456,413	6,335,798



ボランティア講座は板倉病院赤川先生を招待 「認知症について」と題して講演会を開く

本人の健康と命を最優先。認知症を介護するという発想を変えましょう。認知症の人とその家族が共に健康であることを目標にする。何故生活を変えないことが良いのか。物忘れと記憶障害。いつもと違う様子に注目する。言葉の変化にも気付こう。認知症と思ったらどうする。少し認知症を知りましょう。認知症の人への対応の基本。認知症の予防。アルツハイマー型認知症とうつ病高齢者の心理的な特徴。予防としてのサークルの実例、効果は。予防としての期待。もっと社会資源を使いましょう。食事栄養と認知症の予防。(タイトルのみ記す) 社協は予防を旨として活動しています。

わたしとボランティア

“恩返し”と思って始めたボランティア活動ですが、二十四年経った今では、わたくしの生活の一部になっています。

私が一人で困ったのは四人目の子どもの出産時でした。長男が小学校、長女が幼稚園に通っていたからです。夫の「育休」がない時代でした。小学校、幼稚園を休ませないようにするには、どうしたら良いのか。そこで頼ったのは、公園で遊んでいたママ友でした。長男、長女を一人ずつ看てもらい、お弁当まで作ってもらいました。こうやって私の入院中を乗り切ることができたのです。本当に感謝、感謝でした。

数年後、西船地区に引っ越してきました。広報で「ボランティア募集」を見た私は、何の迷いもなく応募しました。

ボランティア登録して二十四年。いまは主に「葛の葉ふれあいデー」「ちびっこ広場」に携わっています。葛飾公民館講堂で開かれる「ちびっこ広場」には、私の娘と同年代のママ達がお子さんを連れて集います。そこでは、ママたちの大先輩のボランティアに見守られて安心して遊べます。いつも下の子にママを取られている上の子もその日はママと一緒に遊べます。下のお子さんは、ボランティアの腕の中でスヤスヤ。ママにとってもボランティアにとってもウィンウィンな関係です。

「葛の葉ふれあいデー」では、いろいろな歌を歌いますが、童謡を輪唱してみたり、交互唱をしてみたりしています。その時の皆さんの笑顔がとても素敵なのです。皆さんの歌声で講堂一杯に響かせるのです。年に一回開かれる福祉祭りでは、舞台で歌を披露します。恥ずかしさもありますが、皆さんの顔が輝いているのは印象的です。

こうやってボランティア活動をしていると自然と困っている人を見かけるとお声掛けしてしまいます。その一方、私もまた元気をもらっているのです。

ボランティアを通じて経験したこと、ボランティアを通じて知り合えた仲間がたくさんできた事は私の大切な宝物になっている事を改めて知ることができました。体力が続く限り、続けさせていこうと、思っています。

太田典子



1月の「生活支援の会」
 災害時に役立つ「パッキングクッキング」を習う。ポリ袋と少々の水、食材と携帯ガスコンロでおいしい食事が出来上がります。水は何回でも使用できます。捨てることはありません。



3月の子育てサロン「ちびっこ広場」 スタッフによるお別れのパフォーマンス。



7月のミニディ「姉様人形」の葉を作る。



1月のいきいきサロンはJRA古作会館で行いました。「デコパージュ」でマスクケースに絵を描きました。



4月のミニディ。ルネ西船橋集会場では朋松苑の協力で「ピンポン玉落とし」。2チームに別れて速さを競いあいました。

毎日、若々しく過ごせるお手伝いをします。

一人にさせません。
 友達が出来ます。
 明日への意欲が出ます。
 初めてに挑戦します。
 笑いがあります。
 軽い運動もあります。



4月のミニディ。「ボッチャ(白い球にどれだけ近く投げられるか)」に興じる。団体対抗戦です。球を投げる前にはシーンと静かに、球を投げ終わるとため息が出たり、歓声や拍手で大騒ぎ。



5月のミニディ。「ばか面踊り」メンバーによる指導で「ばか面踊り」を踊る。



6月のミニディ。「アートセラピー」です。絵の先生の指導でザクロを題材に自分の感じたままに描きました。上手い下手は関係ありません。先生に「これ良いわねエ」と言われ益々熱が入り終了時間が過ぎます。全員の絵を前に張り出しての先生評の時間がありませんでした。



4月の「いきいきサロン」は東中山集会所で開催され、缶バッジを作りました。金粉銀粉がキラキラ輝きます。